

＜先週の説教から＞

「ルカ 80—なんと、よこしまな時代か！」

武田 真治 牧師

申命記 32：1～6 ルカ福音書 9：37～43

「山上の変貌」と呼ばれている出来事（イエス様が山の上で、姿が白く輝き、そこに天からモーセとエリヤが降りて来てイエス様と語り合ったという出来事）は、イエス様のお供をしていた3人の弟子（ペトロとヤコブとヨハネ）だけが見聞した出来事でした。おそらく、彼らは喜んで、他の弟子たちに語り聞かせようと「山を下りて」行ったことでしょう。ところが彼らを待ち受けていた状態は少々困った状況となっていたのでした。即ち「一同が山を下りると、大勢の群衆がイエスを出迎えた。そのとき一人の男が群衆の中から大声で言った、『先生、どうかわたしの子を見てやってください。悪霊が取りつく』と、この子は突然叫びだします。悪霊は泡を吹かせ、さんざん苦しめて、なかなか離れません。この霊を追い出してくださるようにお弟子たちに頼みましたができませんでした。』と。そこにはイエス様だけでなく、ペトロとヤコブとヨハネという12弟子の中心メンバーも居ませんでしたから、残された弟子達は自信を持って当たれなかったのかも知れません。或いは、強力な悪霊だったのかも知れません。

その父親に対して、イエス様が答えられた言葉が『なんと信仰のない、よこしまな時代なのか。いつまでわたしは、あなたがたと共にいて、あなたがたに我慢しなければならないのか。あなたの子供をここに連れて来なさい。』なのでした。このイエス様の言葉は本当に深いなあと思わされます。

この言葉は誰に向けての叱責なのか、ということについて考えれば、何よりその“父親”に対してでしょう。『あなたの子供をここに連れて来なさい。』と言われておられるのですから！それは、この父親は最初から息子にとりついていて悪霊がとても恐ろしいものであることを強調していることからして、イエス様でもこの悪霊を取り除けることが出来るかどうか、不安であったと。それなのにイエス様が不在で弟子達にお願いしてみたが、案の定、だめだったと。それは心から信じていない状態であり、それでは息子が癒されるはずがな

いということでしょう。マルコ福音書で同じ出来事を記している箇所では、この父がそう言われて『信じます。信仰のない私をお助けください』と答えています。

もう一つ、このイエス様の言葉は癒しが出来なかった弟子達にも叱責しておられるとも読めます。9章の最初でイエス様は12弟子に“病気を癒す権能を授けられた”のでした。なのに自信がないからとなるのは、その授けられたイエス様の力を信じていないことになるのではないかと！

ただ、その上で、イエス様は、父親と弟子達を名指して叱責せず、むしろ彼らがそうなっているのは“よこしまな時代＝世代が悪い”と言われている点になるほどなのです。逆に言えば、生きている世代や時代の影響に流されないようにという教えでもあると言い得ます。周囲がどうであれ、自分が信じることを貫くことが大事なのだと思います。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 7月29日(水) 20:00
II. 7月30日(木) 10:30

聖書研究： ヨブ記

祈祷主題： 礼拝委員会を覚えて

担当者： (水) IT (木) HK

祈りに覚える人 SYさん SCさん

【教勢報告】

主日礼拝 男16 女50 計66

祈祷会 I. 男3 女3 計6 II. 男1 女5 計6

日曜学校 幼稚科6 小中科10 計16

ハンナの会 7月21日(火) 男2 女5 計7

【次週・平和聖日礼拝】 8月 2日(日)

聖書： ゼカリヤ書 11：7～16

ルカによる福音書 9：41～43

説教：「平和聖日・ルカ81—いつまでがまんしなければならぬのか！」武田 真治 牧師

讃美歌：373(1)、32、425(1～3)、425(4

【次週当番表】 ～6)、371、81(1～2)、90(1)

司式：HS 長老 奏楽：NY 礼拝：IY 長老

献金：SC TK 受付：NE MH

会堂準備：AA AT SM YE

看板：HS 週報：II お花：

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム

礼拝後：・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・会堂管理委員会 ・長老会

67-30

週報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 7月 26日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549